

それは高校生たちの情熱からはじまった。  
嘉麻市桑野に静かに佇む幻の石橋。その謎を追い求めた朝倉高校史学部  
の若き探求者たちが、歴史の闇に埋もれた真実を解き明かした。  
そして、一編のドラマが始まるように、物語が動き出した。

撮影 小路延幸

幻の石橋を  
皆様のご支援で  
未来へ架け続けたい！  
嘉麻市教育委員会は  
目標金額 **800万円**の  
クラウドファンディングに  
**挑戦**

歴史・文化遺産を活かした文化観光まちづくり



# 幻の石橋

## 保存プロジェクト

実施期間 令和6年 **11月1日** 9:00 **日金** → **12月27日** 23:00 **日金**

福岡県の中央部を南北に縦断する遠賀川の上流域、源流地点に近い山あいの谷間にひっそりと架かる石橋。元々は地図にも載っていない、知る人ぞ知る石橋でしたが、福岡県立朝倉高校史学部による熱心な調査活動がきっかけとなり、その歴史的価値が評価され、令和5年5月に「桑野の梯橋(くわののかげはしばし)」という名称で、嘉麻市の指定有形文化財となりました。地元の花こう岩を用いて、柱状の輪石を縦列に組む「リブアーチ型」という全国でも珍しい構造を持つこの石橋は、かつてこの地域に巧みな技術を持つ石工集団が存在したことを示し、ユニークな石造文化が栄えていたことを紐解く鍵となりました。

幻の石橋保存にご支援を

そんな「幻の石橋」が今、落橋の危機に瀕しています。150年以上の時を経て、橋を支えている川岸の岩盤は脆くなり、その合間に草木が根を張り、今や橋としての使用はおろか、近くからの見学も制限せざるを得ない状況です。一刻も早い保全を要しますがその費用は概算で800万円にのぼります。嘉麻市の財政状況は厳しく財源確保に苦慮する中、広くクラウドファンディングを通じてご寄付を募らせていただくことといたしました。現地に残るリブアーチ型石橋として、日本本土では類を見ないこの文化遺産を未来に伝えるため、そして将来、多くの方が現地でご覧いただけるように、皆様のお力をお貸しいただければ幸いです。

プロジェクトへのご支援、詳細は

嘉麻市 レディフォー



READYFOR

協力：あさくら観光協会・嘉麻市観光まちづくり協会

お問い合わせ 嘉麻市教育委員会生涯学習課 文化推進係 ☎0948-62-5720 ✉bunka@city.kama.lg.jp